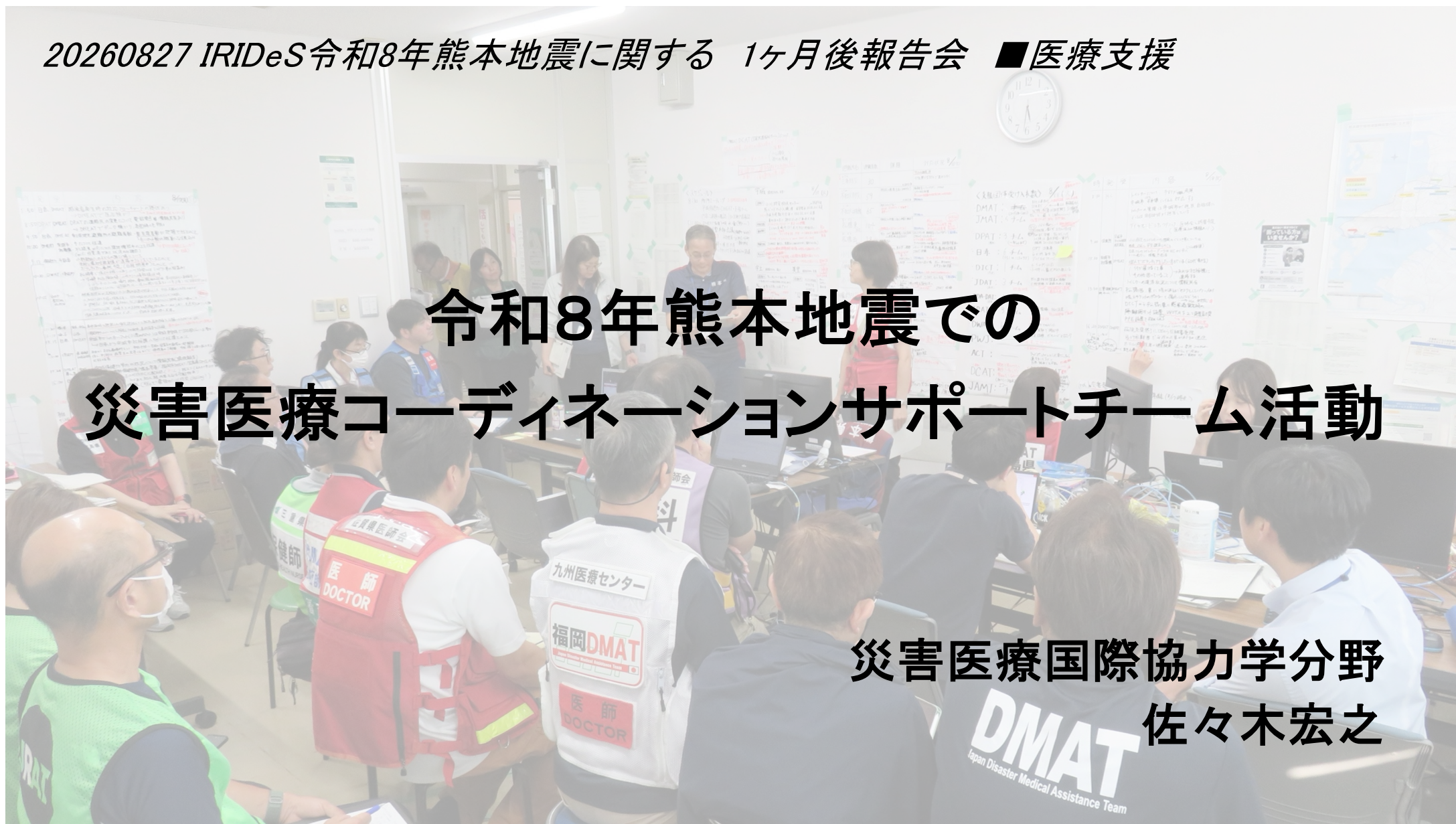


20260827 IRIDeS令和8年熊本地震に関する 1ヶ月後報告会 ■医療支援

令和8年熊本地震での 災害医療コーディネーションサポートチーム活動

災害医療国際協力学分野
佐々木宏之



日本災害医学会 災害医療コーディネーションサポートチーム(CST)

日本医師会と日本災害医学会「災害医療に関する相互協力協定」(平成30年10月締結)に基づく



JADM-CST活動の目的

- 被災地の保健医療福祉関係者を支える(**支援者支援**)
- 本部運営等のサポートを行う
- JMATと連携した活動

日本災害医学会 災害医療コーディネーションサポートチーム(CST)



活動期間(3次隊):8月16日～8月21日
(全体の活動:8月7日～8月26日)

活動場所:JMAT調整**宇城**地域本部(宇城保健所)
(他に県庁調整本部及び八代地域本部)

活動内容:JMAT本部運営サポート等

宇城保健所で関わった支援団体とJADM-CST: 水先案内人



JADM-CST 過去3回の活動



平成28年熊本地震
CST 4次隊派遣
(熊本県益城町役場:
避難所統廃合、巡回バス)



平成30年西日本豪雨
CST 3次隊派遣
(岡山県倉敷市備中保健所:
巡回診療チーム調整)



令和6年能登半島地震
CST 2次隊派遣
(石川県庁:
JMAT-他団体間調整、
看護師派遣調整)

熊本県宇城市／宇城保健所／JMAT宇城調整本部



宇城保健所: 宇城市、宇土市、美里町を管轄



JMAT宇城調整本部(日赤、JRATと同居)

JMAT宇城調整本部 内部(支援者支援)



調整本部(島)でJMAT統括隊員から
派遣計画相談を受ける様子
※()内は実働回数



JMAT宇城調整本部(日赤、JRATと同居)
避難所巡回診療などを日赤さんと協働
隣の島といえど、情報共有はマメに

ある日のJMAT宇城調整本部/JADM-CSTの一日



8:00

朝の血栓予防体操♪

定例MTG (8/17~ 8/16日改定)

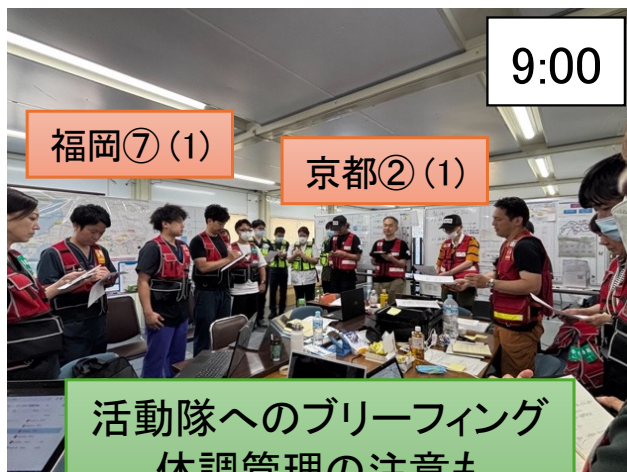
時間	会議名	開催頻度	開催場所	会議録作成の有無
8:30	保健所内ミーティング①	毎日	宇城保健所 (統括医師その他出席(必須))	
9:00	JMAT内部会議①及び日赤との情報共有 JMAT隊員で情報共有、隊員への指示、ミッション実施	毎日	宇城保健所敷地内プレハブ	必要
10:00	JMAT調整本部ミーティング	毎日	WEB(統括医師のみ出席) zoom	
16:00	JMAT調整本部会議	毎日	WEB(統括医師のみ出席) zoom	
16:00	保健所内会議	火・金	宇城保健所	
16:30	JMAT内部会議②	毎日	宇城保健所敷地内プレハブ	必要
17:00	保健所内ミーティング②	毎日	宇城保健所 (統括医師その他出席)	
17:30	被災地域群衆医師			
18:00	日本医師会との			
	翌日のミッション			

本部はとにかく会議が多い
統括のスケジュール管理も



8:30

保健所ミーティング
17:00にもある

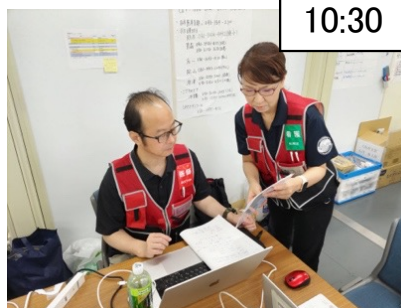


9:00

福岡⑦(1)

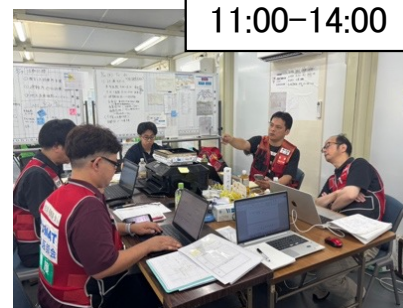
京都②(1)

活動隊へのブリーフィング
体調管理の注意も



10:30

JMATミーティング、CSTミーティング
日中に翌々日の派遣計画、トラブル解決を



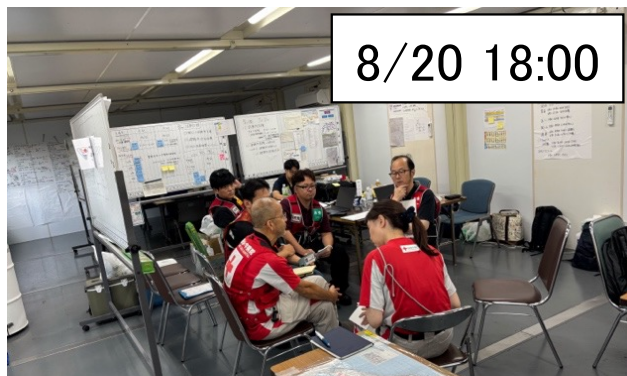
11:00-14:00



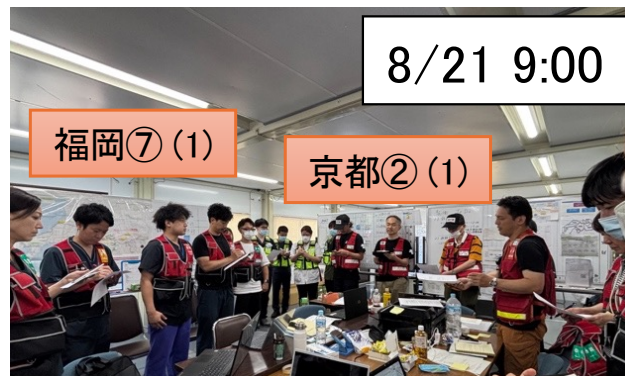
15:00-17:30

活動報告受け 統括と手分けして
To Doにあげる課題を分析

日赤との協働：豊野防災拠点C・豊野少年自然の家→旧豊野小統合



突然舞い込んできた避難所統合ミッション。日赤と膝詰めで計画



福岡⑦医師への現場統括委嘱
時系列に沿って計画を丁寧に説明



JMAT、日赤、市職員、保健師、DICT、
JRAT、DWATなどでレイアウト



家族向け、また感染者向けに
設置されたテントの一部



豊野防災拠点センター
宇城市内に計6か所ある



体育館正面グラウンドは災害
ゴミ置き場。環境調整必要

JADM-CSTの役割: 水先案内人、潤滑油

福岡⑦医師:避難所統合を現場統括

「今回は非常に貴重な経験ができ、メンバー全員が**大きな達成感**を感じながら先ほど北九州へ到着・解散したところです。**何度訓練に参加しても感じることもできない経験**をさせていただきました」



佐賀統括医師:宇城調整本部統括

「佐々木先生がいらっしゃらなかったらどうなっていたか…。初めての統括JMATでしたが、**非常に学びの多い経験**をさせていただき、私たちのアップデートもできたと思っております。…そしてその**潤滑油としてのCSTの存在**です」



大阪日赤CoT医師:宇城の日赤統括

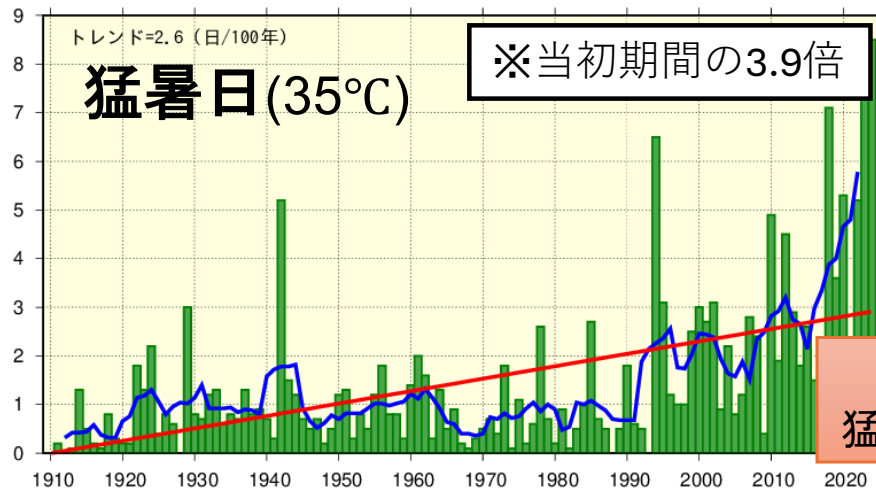


ノンテクニカルスキルの活用

宇城の保健医療福祉支援・避難所の状況(8月22日時点)

- 緊急医療支援は縮小傾向→今後は**福祉**メイン(宇城保健所長談)。保健師、DWAT、JRAT、日赤、DHEATなどが中心か。
- 宇城市内の医療機関は、一部に断水の影響が残り診療制限があるものの、ほぼ通常診療再開→**平時・地元の医療体制への移行**
- 通院の「足」を確保する必要性→**巡回バス、乗り合いタクシー**、移動事業者との協力。通院費高騰→福祉的支援可能か
- **避難所の集約化**(夏休み明け:8月31日)。ただ、被災者の動揺もある
- 場所(避難所)の支援から、**人(被災者)・運用の支援**へ。洗濯、入浴、トイレ(カー)清掃／中断した福祉サービス(デイサービス、リハビリ)／応急危険度判定、仮設住宅、住宅・設備(井戸)再建、ほか福祉も含めた行政手続き支援

東日本の私たちも「我が事化」を



日本中どこでも
猛暑酷暑の可能性



40°C下での仮設トイレは
サウナ状態!!



水を運ぶのは本当に大変!!! 今は宇城氷川八代に
全集中できてるけど被害が広域になったら?



汗ダラダラになっても
入浴できない?

- Q1. 利府長町断層帯が動いたら断水はどうなるの?
真夏なら?
- Q2. どこに避難する?(避難
所? 在宅避難? 車中
泊? ホテル避難? 親
戚・友人宅? ...)